

設備使用・依頼試験の手引



茨城県産業技術
イノベーションセンター

令和6年 4月1日 発行

令和6年 10月1日 改定

設備使用・依頼試験の手引

茨城県産業技術イノベーションセンターの設備を使用する方、試験を依頼する方は、利用にあたって「茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例（昭和51年3月29日茨城県条例第14号。以下「条例」という。）」、「茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例施行規則（昭和51年3月31日茨城県規則第27号。以下「規則」という。）」及び下記に掲げる事項に従うものとします。

（利用時間）

原則、休業日（土日祝日、年末年始（12/29～1/3））を除く平日午前9時から午後5時までとします（設備や試験内容によって変更となる場合があります。あらかじめお問い合わせ下さい）。

（申込方法）

- (1) あらかじめ、電話、メール等で使用したい設備、試験内容、希望日時等をお問合せください。
お問い合わせ先は、巻末の「お問合せ先一覧」をご覧ください。相談内容によって、ご希望に沿えない場合もございますので、ご了承ください。
- (2) 当日までに、設備使用にあつては「設備使用申請書」及び「誓約書」を、依頼試験にあつては「試験・分析・検査申請書」を、関係書類（指定されている場合）と併せて担当職員あて提出してください（申請書には申請者の自署または記名押印を、誓約書には事業主等の自署または記名押印をお願いします）。
- (3) 料金は、現金または納入通知書により納入が可能です。なお納入通知書は電子納付 Pay-easy（ペイジー）に対応しています。
 - ・ 現金による納入の場合 窓口で納入してください。
 - ・ 納入通知書による納入の場合 申請書を基にセンターが納入通知書を発行します。納入通知書に記載された納期限までに納入してください。
- (4) 申請書の提出先は、本所にあつてはセンター長あて、繊維高分子研究所にあつては所長あて、笠間陶芸大学校にあつては学校長あてとします。
- (5) 初めて利用する設備などの場合は、事前に使用方法等に関する講習を受けていただく必要がありますので、お申込みの際にご確認ください。

（利用料金）

- (1) 設備使用、依頼試験の料金は、条例第2条の規定に基づきます。詳細は次頁以降の「設備使用料一覧」、「依頼試験手数料一覧」をご覧ください。
- (2) 「設備使用料一覧」、「依頼試験手数料一覧」に掲げる単位が、時間、長さ、または重量により定められている場合において、試験、検査、加工等にかかる時間、長さまたは重量に一単位に達しない端数があるときは、その端数を1単位にするまで切り上げます。
- (3) 既に徴収した料金は返還しません。ただし、設備の使用開始前に使用の取消しを申し出たとき、又はセンターの業務の都合により設備の使用を停止したとき、もしくは申請者の責めによらない事由により設備使用、試験等を行うことができなかったときについては、料金の全部または一部を返還いたします。

（利用料金の減免）

申請者が地方公共団体、その他の公共団体等の場合、料金を減免できる場合があるので、申請前にご相談ください。

（成績書の交付）

依頼試験の成績書を必要とするときは、原則として「試験・分析・検査申請書」を提出する際に、併せて「成績書交付申請書」を申請者の自署または記名押印の上、1通につき別に定める成績書交付手数料を添えて提出して下さい。成績書は申請者あてセンター長名で交付します。

(遵守義務)

設備使用に際しては次の各号を遵守願います。

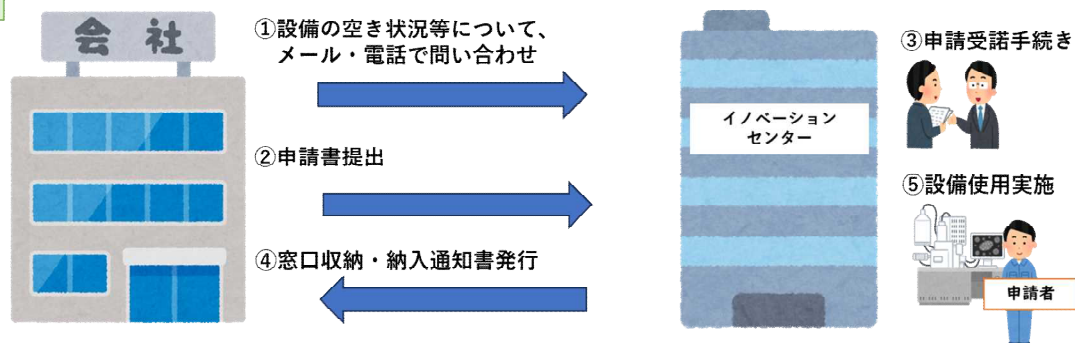
- (1) 設備を使用するときは、職員の指示に従って下さい。
- (2) 設備の構造の改造及び変更等を職員の許可無く行わないで下さい。
- (3) 器具類をセンターの外に持ち出さないで下さい。
- (4) 設備の使用を終了したときは、清潔に掃除し、原状に復した後、職員にその旨を報告し、確認を受けて下さい。故意、又は過失により設備機器等を亡失、毀損した場合は、損害を賠償していただく場合がございます。
- (5) その他センター長の指示する事項に従ってください。

(センター名義の使用)

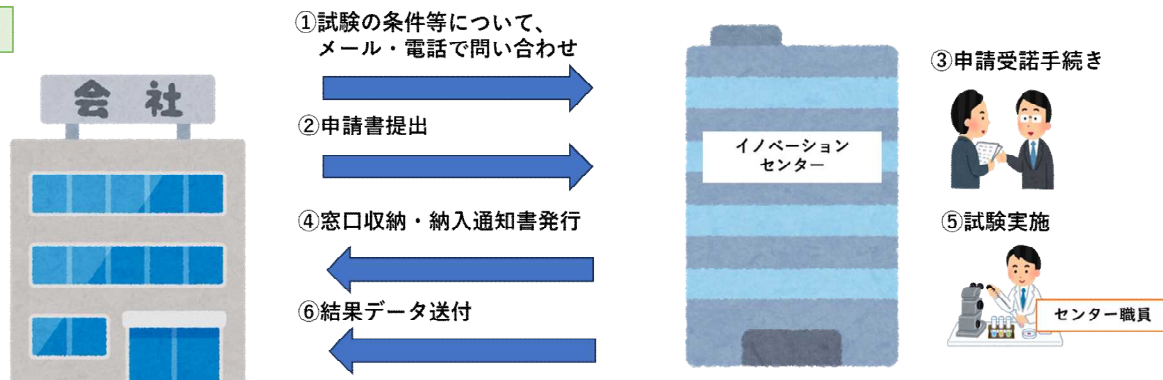
依頼試験の成績書をもとに、カタログ、パンフレット、ホームページ等にセンターの名称を使用する場合には、「茨城県産業技術イノベーションセンター名義使用要領」に沿って事前に承認を得る必要がありますので、詳細は職員にご相談ください。

<手続きイメージ>

設備使用



依頼試験



<様式ダウンロード>



設備使用

<https://www.itic.pref.ibaraki.jp/facility/>



依頼試験

<https://www.itic.pref.ibaraki.jp/examination/>

設備使用料一覧

1 茨城県産業技術イノベーションセンター(本所)

※料金はすべて消費税込みです。

令和6年10月1日改正

区分	設備の種類	単位	金額(円)	担当グループ
強度試験機器	インストロン万能試験機(15トン)	1時間	1,650	IT・マテリアルグループ
	インストロン万能試験機(60トン)	1時間	1,980	IT・マテリアルグループ
	落下試験機	1時間	1,870	IT・マテリアルグループ
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550	IT・マテリアルグループ
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
	ブリネル硬度計	1時間	660	IT・マテリアルグループ
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機(樹脂の包埋)	1時間	1,210	IT・マテリアルグループ
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,870	フード・ケミカルグループ
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,520	フード・ケミカルグループ
	ICP発光分析装置	1時間	6,050	フード・ケミカルグループ
	原子吸光分析	1時間	4,400	フード・ケミカルグループ
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640	フード・ケミカルグループ
	赤外分光光度計	1時間	3,520	フード・ケミカルグループ
	ドラフトチャンバー	1時間	1,650	フード・ケミカルグループ
	三次元測定機	1時間	2,860	IT・マテリアルグループ
	金属顕微鏡(組織解析機能付)	1時間	1,650	IT・マテリアルグループ
	カーボンコーター(カーボンコーティング)	1時間	880	フード・ケミカルグループ
	スパッタリング装置	1時間	2,420	フード・ケミカルグループ
	雰囲気中液体急冷装置(アモルファス合金製造)	1時間	3,080	フード・ケミカルグループ
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,520	フード・ケミカルグループ
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,320	フード・ケミカルグループ
	粒度分布測定装置	1時間	1,650	フード・ケミカルグループ
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	6,160	フード・ケミカルグループ
	試料研磨機	1時間	1,210	IT・マテリアルグループ
	放電プラズマ焼結装置	1時間	3,630	IT・マテリアルグループ
	ラマン分光分析装置	1時間	2,530	フード・ケミカルグループ
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	2,090	IT・マテリアルグループ
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760	フード・ケミカルグループ
	エックス線残留応力測定装置	1時間	3,410	IT・マテリアルグループ
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090	IT・マテリアルグループ
	イオンミリング装置	1時間	2,530	IT・マテリアルグループ
	分光光度計	1時間	2,970	フード・ケミカルグループ
	卓上SEM	1時間	2,860	フード・ケミカルグループ
	デジタルマイクロスコープ	1時間	770	新ビジネス支援グループ
	真円度測定機	1時間	2,310	IT・マテリアルグループ
	画像測定機	1時間	1,870	IT・マテリアルグループ
洗浄関連機器	ファインバブル発生装置	1時間	1,540	フード・ケミカルグループ
電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	6,600	IT・マテリアルグループ
	耐ノイズ試験機	1時間	4,620	IT・マテリアルグループ
	EMI機器	1時間	5,940	IT・マテリアルグループ
	電源変動許容度試験器	1時間	2,750	IT・マテリアルグループ
	絶縁耐圧試験器	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
	漏れ電流試験器	1時間	1,870	IT・マテリアルグループ
	抵抗計	1時間	990	IT・マテリアルグループ
	通信環境評価装置	1時間	4,730	IT・マテリアルグループ
	電磁界可視化装置	1時間	3,410	IT・マテリアルグループ
	汎用型オシロスコープ	1時間	880	新ビジネス支援グループ

区分	設備の種類	単位	金額(円)	担当グループ
耐候試験機器	恒温恒湿器	1時間	3,080	フード・ケミカルグループ
		1時間を超え、 1時間ごとに	660	フード・ケミカルグループ
	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,540	フード・ケミカルグループ
微生物試験関連機器	オートクレープ	1時間	990	フード・ケミカルグループ
	低温恒温器	1日	2,090	フード・ケミカルグループ
金属工作機械	切断機	1時間	880	IT・マテリアルグループ
	油圧サーボプレス機(110トン)	1時間	4,180	IT・マテリアルグループ
	ダイカストマシンシステム	1日	176,660	IT・マテリアルグループ
	温間圧延機	1日	35,860	IT・マテリアルグループ
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180	研究推進グループ
木材工作機械	角のみ機	1時間	120	IT・マテリアルグループ
	超仕上鉋 ^{かんな} 盤	1時間	600	IT・マテリアルグループ
	手押し鉋 ^{かんな} 盤	1時間	550	IT・マテリアルグループ
	バンドソー	1時間	550	IT・マテリアルグループ
	昇降盤	1時間	330	IT・マテリアルグループ
	自動一面鉋 ^{かんな} 盤	1時間	950	IT・マテリアルグループ
	木工旋盤	1時間	230	IT・マテリアルグループ
設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,420	新ビジネス支援グループ
		1枚・A0判	2,090	新ビジネス支援グループ
		1枚・A1判	1,540	新ビジネス支援グループ
		1枚・A2判	1,320	新ビジネス支援グループ
	簡易3Dスキャナ	1時間	440	IT・マテリアルグループ
	三次元デジタイザ	1時間	1,980	IT・マテリアルグループ
自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,320	IT・マテリアルグループ
	撮像検証システム	1時間	1,430	IT・マテリアルグループ
食品等分析・観察機器	アルコール分析機	1時間	770	フード・ケミカルグループ
	ガス透過率測定機	1時間	2,750	フード・ケミカルグループ
	赤外線水分計	1時間	990	フード・ケミカルグループ
	穀粒判別機	1時間	1,100	フード・ケミカルグループ
	水分活性測定装置	1時間	1,100	フード・ケミカルグループ
	テンシプレスサー	1時間	880	フード・ケミカルグループ
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	2,970	フード・ケミカルグループ
	ドラムドライヤー	1時間	1,760	フード・ケミカルグループ
	微粉碎試験機	1時間	1,000	フード・ケミカルグループ
	ピンミル	1時間	1,760	フード・ケミカルグループ
	オーブン	1時間	880	フード・ケミカルグループ
	スチーマーボックス	1時間	2,750	フード・ケミカルグループ
	製麺機	1時間	2,530	フード・ケミカルグループ
	真空凍結乾燥機	1時間	990	フード・ケミカルグループ
	人工太陽照明システム	1時間	990	フード・ケミカルグループ
	加圧釜	1時間	2,420	フード・ケミカルグループ
	試験用精米機	1時間	770	フード・ケミカルグループ
食品加工機器	蒸米機	1時間	990	フード・ケミカルグループ
	製品濾 ^ろ 過機	1時間	770	フード・ケミカルグループ
	圧搾機	1時間	880	フード・ケミカルグループ
	醸造用小型精米機	1時間	1,430	フード・ケミカルグループ

2 茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

※料金はすべて消費税込みです。

区分	設備の種類		単位	金額(円)	担当グループ
加工機類	力織機		1日	1,100	繊維・紬グループ
	整経機		1時間	770	繊維・紬グループ
		1時間を超え, 1時間ごとに		220	繊維・紬グループ
	繰返機		1日	660	繊維・紬グループ
	揚返機		1日	600	繊維・紬グループ
	撚 ^{ねん} 糸機		1時間	770	繊維・紬グループ
		1時間を超え, 1時間ごとに		120	繊維・紬グループ
	広幅整理機		1時間	1,210	繊維・紬グループ
	小型レピア試織機		1日	3,300	繊維・紬グループ
	遠心脱水機		1時間	770	繊維・紬グループ
	手動式かせ揚げ機		1日	660	繊維・紬グループ
	卓上型手織機		1日	660	繊維・紬グループ
	射出成形機		1時間	3,080	高分子材料グループ
	マングル		1時間	770	繊維・紬グループ
	自動柄織機システム		1時間	3,520	繊維・紬グループ
	大判プリンタ		1枚・A1判	990	繊維・紬グループ
	設計図案システム		1時間	770	繊維・紬グループ
	レバー式試料裁断機		1時間	660	高分子材料グループ
	プレス成形機(真空機能なし)		1時間	1,980	高分子材料グループ
	プレス成形機(真空機能あり)		1時間	2,640	高分子材料グループ
	ミクロトーム		1時間	2,090	高分子材料グループ
	凍結粉碎機		1時間	990	高分子材料グループ
	切断機		1時間	1,760	高分子材料グループ
	自動研磨機		1時間	1,100	高分子材料グループ
	ワインダー		1時間	1,100	繊維・紬グループ
	サイジング機		1時間	1,320	繊維・紬グループ
	ホールガーメントコンピューター横編機		1時間	2,530	繊維・紬グループ
試験機器類	万能試験機		1時間	1,650	高分子材料グループ
	通気度試験機		1時間	550	繊維・紬グループ
	電子顕微鏡		1時間	1,980	高分子材料グループ
	メルトインデкса		1時間	770	高分子材料グループ
	試料作成機		1時間	660	高分子材料グループ
	万能振子式衝撃試験機		1時間	770	高分子材料グループ
	デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650	繊維・紬グループ
	超音波洗浄機		1時間	770	繊維・紬グループ
	布用厚さ測定器		1時間	660	繊維・紬グループ
	送風定温乾燥機		1時間	660	高分子材料グループ
	接触角計		1時間	660	高分子材料グループ
	破断観察装置(高速度カメラ)		1時間	2,200	高分子材料グループ
	分光測色計		1時間	770	繊維・紬グループ
	ドライクリーニング試験機		1時間	770	繊維・紬グループ
	赤外線水分計		1時間	660	繊維・紬グループ
	引裂試験機		1時間	660	繊維・紬グループ
	変角光沢計		1時間	770	繊維・紬グループ
	摩擦堅ろう度試験機		1時間	660	繊維・紬グループ
	熱分析装置		1時間	3,630	高分子材料グループ
	PVT装置		1時間	3,740	高分子材料グループ
	熱拡散率・熱伝導率測定装置		1時間	3,740	高分子材料グループ
	赤外分光光度計		1時間	2,640	高分子材料グループ
	恒温恒湿器		1時間	880	繊維・紬グループ
	KES風合い試験機	引張せん断試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ
		純曲げ試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ
		大型曲げ試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ
		圧縮試験機	1時間	1,100	繊維・紬グループ
		表面試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ
		表面摩擦試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ
		サーモラボ	1時間	1,100	繊維・紬グループ
		大型ねじり試験機	1時間	1,210	繊維・紬グループ

依頼試験手数料一覧

1 茨城県産業技術イノベーションセンター(本所)

※料金はすべて消費税込みです。

令和6年4月1日改正

区分			単位	金額(円)	担当グループ
分析	定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの (マッピング分析以外のもの)	1試料・1測定	3,960	フード・ケミカルグループ
		微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	1試料・1測定	6,600	フード・ケミカルグループ
		電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所 (写真1枚付)	8,690	フード・ケミカルグループ
		FT-IRによるもの	1試験・1測定	5,280	フード・ケミカルグループ
		赤外顕微鏡によるもの	1試験・1測定	7,040	フード・ケミカルグループ
		XPS測定装置による表面分析	1試験・1測定	16,610	フード・ケミカルグループ
			1試験・1測定 (1条件増すごとに)	10,120	フード・ケミカルグループ
		ラマン分光分析装置によるもの	1試験・1測定	5,500	フード・ケミカルグループ
		エックス線回折装置によるもの	1試料・1測定	14,630	フード・ケミカルグループ
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	3,960	フード・ケミカルグループ
		ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	2,420	フード・ケミカルグループ
	定量分析	pH値測定	1試料	1,210	フード・ケミカルグループ
		ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	9,900	フード・ケミカルグループ
		原子吸光分析によるもの	1試料・1成分	8,030	フード・ケミカルグループ
		炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,840	フード・ケミカルグループ
	前処理	マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,600	フード・ケミカルグループ
		マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610	フード・ケミカルグループ
		ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410	研究推進グループ
		その他前処理	1時間	3,630	フード・ケミカルグループ
材料試験等	材料強度試験等	インストロン万能試験機(15トン)によるもの	1試料・1項目	3,850	IT・マテリアルグループ
		インストロン万能試験機(15トン)のアライメント調整	1件	12,210	IT・マテリアルグループ
		インストロン万能試験機(60トン)によるもの	1試料・1項目	4,730	IT・マテリアルグループ
	硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの	1試料・3点測定	1,760	IT・マテリアルグループ
			(追加1点増すごとに)	440	IT・マテリアルグループ
		ブリネル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,540	IT・マテリアルグループ
			(追加1点増すごとに)	340	IT・マテリアルグループ
		ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,430	IT・マテリアルグループ
			(追加1点増すごとに)	440	IT・マテリアルグループ
	疲労試験	疲労試験機によるもの(恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	8,580	IT・マテリアルグループ
			1時間を超え, 1試料1時間ごとに	770	IT・マテリアルグループ
		疲労試験機によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	11,110	IT・マテリアルグループ
			1時間を超え, 1試料1時間ごとに	990	IT・マテリアルグループ
		疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用なし)	1試料・1時間	11,110	IT・マテリアルグループ
			1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,760	IT・マテリアルグループ
			1試料・1時間	11,660	IT・マテリアルグループ
		疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用あり)	1時間を超え, 1試料1時間ごとに	2,420	IT・マテリアルグループ
			1試料・1時間	9,350	IT・マテリアルグループ
		平面曲げ疲労試験機によるもの	1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,540	IT・マテリアルグループ
	残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの (弾性定数測定以外のもの)	1測定	5,170	IT・マテリアルグループ
	非破壊試験(エックス線CT装置によるもの)		1試料・1時間	12,100	IT・マテリアルグループ
			1時間を超え, 1試料1時間ごとに	9,020	IT・マテリアルグループ
	焼結試験		1件	11,000	IT・マテリアルグループ
	透過率・反射率・吸光度測定		1試料・1測定	4,840	フード・ケミカルグループ

区分			単位	金額(円)	担当グループ
性能試験 (長期性能試験)	耐食試験	塩水噴霧試験等(複合サイクル機によるもの)	1件・24時間	7,810	フード・ケミカルグループ
		塩水噴霧試験等(卓上型塩水噴霧試験機によるもの)	1件・24時間	5,390	フード・ケミカルグループ
		塩水噴霧試験等(塩水噴霧試験機によるもの)	1件・24時間	6,820	フード・ケミカルグループ
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間	12,980	フード・ケミカルグループ
			8時間を超え, 1件8時間ごとに	5,280	フード・ケミカルグループ
	劣化試験	写真撮影	1枚	330	フード・ケミカルグループ
			1件・1時間	3,410	フード・ケミカルグループ
木材試験	木材含水率測定に係るもの		1件(5試料)	660	IT・マテリアルグループ
	木材比重測定に係るもの		1件(5試料)	1,430	IT・マテリアルグループ
表面処理試験	膜厚試験	蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定	3,630	フード・ケミカルグループ
	引っかかり硬度(鉛筆法)		1件	3,190	フード・ケミカルグループ
	付着性(クロスカット法)		1件	3,190	フード・ケミカルグループ
精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの	1試料・1要素測定	2,970	IT・マテリアルグループ
		表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1測定	2,530	IT・マテリアルグループ
			自動測定の追加・ 1測定	550	IT・マテリアルグループ
		真円度測定機によるもの	1試料・1測定	2,530	IT・マテリアルグループ
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所 (写真1枚付)	2,200	IT・マテリアルグループ
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,540	IT・マテリアルグループ
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所 (写真1枚付)	3,410	フード・ケミカルグループ
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所 (写真1枚付)	2,420	フード・ケミカルグループ
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210	フード・ケミカルグループ
		結晶方位測定	1試料・1測定	16,280	IT・マテリアルグループ
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,750	フード・ケミカルグループ
		走査型プローブ顕微鏡によるもの(環境制御ユニット使用)	1試料・1測定	20,350	フード・ケミカルグループ
	金属材料摩耗試験		1件・1時間	2,750	IT・マテリアルグループ
	前処理	試料埋込	1試料	1,320	IT・マテリアルグループ
		試料研磨	1試料	3,190	IT・マテリアルグループ
		試料蒸着処理	1試料	990	IT・マテリアルグループ
		結晶方位測定用前処理	1試料	12,210	IT・マテリアルグループ
		イオンミリング	1時間	3,960	IT・マテリアルグループ
		試料切断	0.5時間	1,980	IT・マテリアルグループ
設計支援	三次元形状データ作成(CAD)		1件・1時間	3,740	IT・マテリアルグループ
	解析シミュレーション(CAE)	設定	1件・1時間	4,180	IT・マテリアルグループ
		計算	1件・1時間	990	IT・マテリアルグループ
	塑性加工解析(CAE)	設定	1件・1時間	6,050	IT・マテリアルグループ
		計算	1件・1時間	2,750	IT・マテリアルグループ
	模型試作(CAM)	設定	1件・1時間	3,630	IT・マテリアルグループ
		加工	1件・1時間	440	IT・マテリアルグループ
	3Dプリンタ(熱溶解積層法)	設定	1件・1時間	4,070	新ビジネス支援グループ
		樹脂造形	1件・1時間	990	新ビジネス支援グループ
		FRP造形	1件・1時間	1,980	新ビジネス支援グループ
	三次元デジタイザによるもの	形状測定	1時間	4,620	IT・マテリアルグループ
		データ処理	1時間	990	IT・マテリアルグループ
	電磁界解析(CAE)	設定	1件・1時間	7,590	IT・マテリアルグループ
		計算	1件・1時間	4,290	IT・マテリアルグループ
電気試験	3Dモデリングマシン	設定	1件・1時間	4,070	新ビジネス支援グループ
		造形	1件・1時間	770	新ビジネス支援グループ
	立体造形装置	設定	1件・1時間	3,740	IT・マテリアルグループ
		造形	1件・1時間	770	IT・マテリアルグループ
	絶縁耐圧試験		1試験・1測定	990	IT・マテリアルグループ
	ノイズ耐性試験		1件・0.5時間	3,190	IT・マテリアルグループ
	RFイミュニティ試験		1件・1時間	8,910	IT・マテリアルグループ
	EMI試験		1件・1時間	8,580	IT・マテリアルグループ
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)		1件・1時間	5,170	IT・マテリアルグループ
	電気計測(抵抗計によるもの)		1試験・1測定	990	IT・マテリアルグループ
	電気計測(デジタルマルチメータによるもの)		1試験・1測定	1,540	IT・マテリアルグループ
	耐環境 試験	冷熱衝撃試験	1件・1時間	5,390	IT・マテリアルグループ
			1時間を超え, 1件1時間ごとに	2,420	IT・マテリアルグループ

区分			単位	金額(円)	担当グループ	
自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証		1件・1時間	3,630	IT・マテリアルグループ	
	模擬スマート工場用プログラム作成		1件・1時間	3,630	IT・マテリアルグループ	
	撮像検証システムによるもの		1試料・1測定	1,650	IT・マテリアルグループ	
食品の分析、試験等	一般分析	定量分析		1試料・1成分	990	フード・ケミカルグループ
		ガスクロマトグラフによる分析		1試料・1測定	7,590	フード・ケミカルグループ
		生物顕微鏡による分析		1試験・1測定	1,430	フード・ケミカルグループ
		ヘッドスペースGC/MSIによる定性分析		1試料・1測定	13,970	フード・ケミカルグループ
	栄養成分分析	アミノ酸分析	指定アミノ酸17種類	1件(10試料)	55,330	フード・ケミカルグループ
			指定アミノ酸35種類	1件(3試料)	60,720	フード・ケミカルグループ
		窒素分析		1試料・1成分	3,190	フード・ケミカルグループ
		脂肪分析		1試料・1成分	4,620	フード・ケミカルグループ
	測定試験	食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,420	フード・ケミカルグループ
		澱 ^{でん} 粉糊 ^こ 化特性測定試験		1試験・1測定	3,850	フード・ケミカルグループ
		水分活性測定		1試験・1測定	1,650	フード・ケミカルグループ
		ガス透過率測定		1試料・1項目	9,130	フード・ケミカルグループ
		水分量測定(加熱乾燥法によるもの)		1試料	3,630	フード・ケミカルグループ
		水分量測定(赤外線水分計によるもの)		1試料	2,200	フード・ケミカルグループ
		グルコース分析		1試験・1測定	2,530	フード・ケミカルグループ
		デジタル糖度計による比重測定		1試料・1項目	1,210	フード・ケミカルグループ
		振動式密度計による測定		1試料・1項目	1,320	フード・ケミカルグループ
	細菌検査	一般細菌検査(一般生菌数, 大腸菌群等)		1試料・1項目	3,410	フード・ケミカルグループ
		特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)		1試料・1項目	6,600	フード・ケミカルグループ
		その他の細菌検査(真菌, 酵母等)		1試料・1項目	4,950	フード・ケミカルグループ
	酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)		1試料・1項目	5,830	フード・ケミカルグループ
		酵素力価測定(グルコアミラーゼ)		1試料・1項目	4,180	フード・ケミカルグループ
		酵素力価測定(α-アミラーゼ)		1試料・1項目	3,410	フード・ケミカルグループ
	抗菌試験			1試料・1項目	31,020	フード・ケミカルグループ
	保存試験			30日以内のもの1試料	3,080	フード・ケミカルグループ
	官能検査			1試料	1,540	フード・ケミカルグループ
成績書交付			1通	660		

備考 職員の派遣を要する試験、分析、検査、調製、加工等に係る手数料の額は、この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間1時間までごとに3,630円を加算した額とする。

区分			単位	金額(円)	担当グループ	
試験又は分析	各種繊維の織度，繊維長，強伸度，水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項)	2,090	繊維・紬グループ	
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400	繊維・紬グループ	
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270	繊維・紬グループ	
	各種糸の太さ，より数，強伸度，糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,090	繊維・紬グループ	
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400	繊維・紬グループ	
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270	繊維・紬グループ	
	織物又は編物の目付，強伸度，通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項)	2,090	繊維・紬グループ	
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400	繊維・紬グループ	
		複雑なもの	1件(1事項)	6,270	繊維・紬グループ	
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項)	2,090	繊維・紬グループ	
		やや複雑なもの	1件(1事項)	4,400	繊維・紬グループ	
		複雑なもの	1件(1事項)	6,380	繊維・紬グループ	
	精練，漂白，染色，糊付 ^{のりづけ} ，仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,970以上 10,450以下	繊維・紬グループ	
	染色堅ろう度試験	熱湯，水，汗，洗濯，摩擦等	1件(1事項)	1,430	繊維・紬グループ	
			1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,860	繊維・紬グループ	
			1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え，12時間まで	4,620	繊維・紬グループ	
			12時間を超え，1件1時間ごとに	340	繊維・紬グループ	
		耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	5,500	繊維・紬グループ	
			6時間を超え，1件1時間ごとに	770	繊維・紬グループ	
	耐候試験		1件(5試料)・8時間	4,070	繊維・紬グループ	
			8時間を超え，1件1時間ごとに	550	繊維・紬グループ	
	耐光試験(フェードメーターによるもの)		1件(5試料)・1時間	1,760	繊維・紬グループ	
			追加5試料ごとに	330	繊維・紬グループ	
			1時間を超え，1件1時間ごとに	770	繊維・紬グループ	
	恒温恒湿試験		1件・1時間	1,540	繊維・紬グループ	
			1時間を超え，1件1時間ごとに	330	繊維・紬グループ	
	測色試験		1件	1,540	繊維・紬グループ	
	洗濯試験		1件	2,420	繊維・紬グループ	
	繊維，染料，助剤，薬剤等の分析及び応用試験		1件・1成分	3,080以上 11,000以下	繊維・紬グループ	
	プラスチック材料試験		簡単なもの	1件(1事項)	3,300	高分子材料グループ
			複雑なもの	1件(1事項)	6,600	高分子材料グループ
			メルトインデクサによるもの	1件	2,530	高分子材料グループ
	プラスチック試料作成		射出成形機によるもの	1件(5ショットまで)	4,070	高分子材料グループ
				追加同一材料(5ショットまで)	770	高分子材料グループ
			試料切断	1件	1,540	高分子材料グループ
			試料研磨	1件	3,410	高分子材料グループ
			冷間樹脂埋め	1試料	1,650	高分子材料グループ
			その他の試料作成機等によるもの	1件(1事項)	1,430	高分子材料グループ
	電子顕微鏡表面観察		1件(1事項) (写真1枚付)	4,510	繊維・紬グループ	
			追加1箇所につき (写真1枚付)	880	繊維・紬グループ	
	デジタルマイクロスコープ観察		1件(1事項) (写真1枚付)	2,310	繊維・紬グループ	
			写真追加1枚につき	440	繊維・紬グループ	
	疲労試験		疲労試験機(油圧)によるもの (恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	6,710	高分子材料グループ
				1時間を超え，1試料1時間ごとに	880	高分子材料グループ
			疲労試験機(油圧)によるもの (恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	9,240	高分子材料グループ
				1時間を超え，1試料1時間ごとに	1,100	高分子材料グループ
	強度試験		万能試験機によるもの	1件	2,200	高分子材料グループ
			高速度カメラによる破断観察	1件・1時間	4,070	高分子材料グループ
	熱分析		1試料・1時間	4,730	高分子材料グループ	
	PVT測定		1条件	7,370	高分子材料グループ	
	摩擦処理試験		1試料(1,000回まで)	990	繊維・紬グループ	
	熱拡散率測定		1測定	7,590	高分子材料グループ	

	KES風合い試験	引張せん断試験	1件(1事項)	1,870	繊維・紬グループ
		曲げ試験	1件(1事項)	1,870	繊維・紬グループ
		圧縮試験	1件(1事項)	1,760	繊維・紬グループ
		表面試験	1件(1事項)	1,870	繊維・紬グループ
		接触冷温感・熱伝導率・保温性試験	1件(1事項)	1,760	繊維・紬グループ
		ねじり試験	1件(1事項)	1,870	繊維・紬グループ
		風合い値解析	1件(1事項)	990	繊維・紬グループ
	成績書交付		1通	660	
試作又は加工	織物又は糸の精練、漂白、染色その他の加工		1件(1事項)	990以上 9,570以下	繊維・紬グループ
	織物の整理仕上げ		1反又は12m	470以上 4,070以下	繊維・紬グループ
	試織	手織りによるもの	1件(1事項) (幅10センチメートルまで、 長さ30センチメートルまで)	7,810	繊維・紬グループ
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルま で、長さ100センチメートルまで)	35,420	繊維・紬グループ
			1件(1事項)(長さ100センチメートル を超え、100センチメートルにつき)	4,290	繊維・紬グループ
	試編み(ホールガーメントコンピューター横編機によるもの)	1件(1事項)(幅90センチメートルま で、長さ50センチメートルまで)	3,410	繊維・紬グループ	
		1件(1事項)(長さ50センチメートルを 超え、50センチメートルにつき)	1,430	繊維・紬グループ	
	図案の調製	設計図案データの作成		1件・0.5時間	1,870
二次元形状データの作成		1件・0.5時間	1,870	繊維・紬グループ	
設計図案の印刷		1枚(長さ50センチメートル)	340	繊維・紬グループ	

3 茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

※料金はすべて消費税込みです。

区分		単位	金額(円)	担当グループ
窯業試験	素 ^き 地試験	1件	3,960	窯業技術グループ
	熱分析試験	1件	5,170	窯業技術グループ
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	3,740	窯業技術グループ
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	2,200	窯業技術グループ
	エックス線回折試験	1件	6,160	窯業技術グループ
	粒度分布試験	1件	4,290	窯業技術グループ
	吸水試験	1件	1,100	窯業技術グループ
	強度試験	1件	990	窯業技術グループ
	耐寒試験	1件	4,150	窯業技術グループ
	嵩 ^{かさ} 比重試験	1件	1,650	窯業技術グループ
	耐薬品試験	1件	1,760	窯業技術グループ
	外圧試験	1件	2,090	窯業技術グループ
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	3,630	窯業技術グループ
	成績書交付	1通	660	
試作又は加工		1件	660以上 69,270以下	窯業技術グループ

備考 単位の基準が時間、長さ、または重量により定められている場合において、試験、検査、加工等にかかる時間、長さまたは重量に一単位に達しない端数があるときは、その端数を1単位にするまで切り上げます。

参考条例 茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料および手数料徴収条例
(昭和51年茨城県条例第14号)

決裁日	令和 年 月 日
-----	---

【実施伺】本件、受諾してよろしいか。				
副センター長	部長	グループ長	グループ員	担当者

設備使用申請書

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

(〒)

住 所

電話番号

事業所名

氏 名

次により、貴センターの設備を使用したいので、申請します。

1. 設備の名称

2. 使用の目的

3. 使用数量

4. 使用期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(使用時間) (令和 年 月 日 時から 時まで)

(申請者(代理人)と 使用者が異なる場合) 設備使用者連絡先	(1)	所属部署	
	(2)	役職・氏名	
	(3)	TEL	
	(4)	E-MAIL	

以下センター職員記入欄

減免率0%

コードNo※	設 備 機 器 名 ※	単 価※	単位※	単位数※	金 額※	確 認 者※
		()			()	
		()			()	
		()			()	
		()			()	
		()			()	

申請件数 合計 1 件

使用料※ (税込み)	¥ ()
---------------	---------------------



領収月日※	領収番号※

調定決議			
主任	係長	管理部長	センター長
納入金額			
納入義務者			
収納済年月日			
納入通知書発行日			
納入通知書		調定番号	確認番号

誓約書

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

住 所

電話番号

事業所名

事業主名
(代表者)

私、このたび設備使用者 が貴所の試験機器の設備を使用することにつきましては、以下を遵守することを誓約します。

- 1 関係規定及び茨城県産業技術イノベーションセンター職員の指示に従います。
- 2 設備使用にあたっては、申請書に記載した目的以外の利用はいたしません。
- 3 設備使用にあたって、必要な工具、原材料は当社(使用者)の負担で持参し、持参したもの及び発生した廃棄物等は当社(使用者)がすべて持ち帰ります。
- 4 当社(使用者)が故意又は自らの過失により試験機器等を滅失又はき損した場合は、当社(使用者)が滅失又はき損した当該機器の補てん又は修理等を行い、茨城県産業技術イノベーションセンターに損害を賠償します。
- 5 次に掲げる(1)または(2)により当社(使用者)が被った損害については、当社(使用者)が全責任を負い、茨城県産業技術イノベーションセンターに損害賠償等の請求は一切行いません。
 - (1) 当社(使用者)の故意又は過失により発生した事故
 - (2) 自然災害
- 6 設備使用により得られたデータを公開する場合は、茨城県及び茨城県産業技術イノベーションセンターの名称を一切使用いたしません。

誓約書

記入例

令和6年4月1日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

設備使用者がセンターの備品その他の設備を壊した場合の弁償や、負傷した場合の治療費の負担などに対して、責任を負える立場の者の自署または記名押印。

第一義には代表取締役、次点以降は工場長、所長、事業部長、部長などの管理職の者。

住 所 茨城県東茨城郡茨城町長岡3781-1

電話番号 029-293-7212

事業所名 茨城県産業技術イノベーションセンター

事業主名
(代表者) 代表取締役 茨城 太郎

私、このたび設備使用者 ○○ ○○○ が貴所の試験機器の設備を使用することにつきまして、以下を遵守することを誓約します。

- 1 関係規定及び茨城県産業技術イノベーションセンター職員の指示に従います。
- 2 設備使用にあたっては、申請書に記載した目的以外の利用はいたしません。
- 3 設備使用にあたって、必要な工具、原材料は当社(使用者)の負担で持参し、持参したもの及び発生した廃棄物等は当社(使用者)がすべて持ち帰ります。
- 4 当社(使用者)が故意又は自らの過失により試験機器等を滅失又はき損した場合は、当社(使用者)が滅失又はき損した当該機器の補てん又は修理等を行い、茨城県産業技術イノベーションセンターに損害を賠償します。
- 5 次に掲げる(1)または(2)により当社(使用者)が被った損害については、当社(使用者)が全責任を負い、茨城県産業技術イノベーションセンターに損害賠償等の請求は一切行いません。
 - (1) 当社(使用者)の故意又は過失により発生した事故
 - (2) 自然災害
- 6 設備使用により得られたデータを公開する場合は、茨城県及び茨城県産業技術イノベーションセンターの名称を一切使用いたしません。

【実施伺】本件、受諾してよろしいか。

副センター長	部長	グループ長	グループ員	担当者

【結果通知伺】別紙のとおり結果を通知してよろしいか。

部長	グループ長	グループ員	担当者

試験・分析・検査申請書

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

() ()

住 所

電話番号

事業所名

氏 名

次の試験(分析, 検査)を依頼したいので, 申請します。

1. 試験(分析, 検査)の内容

2. 試験(分析, 検査)の目的又は事由

3. 試料名及び数量

4. 産地(製造地)名及び製造者名

5. 試料の返還の要否

担当者連絡先

(1)	所属部署	
(2)	役職・氏名	
(3)	TEL	
(4)	E-MAIL	

減免率0%

以下センター職員記入欄

コードNo※	区分 ※	試験単価※	単位※	件数※	金 額※	確 認 者※
		()			()	
		()			()	
0		()			()	
0		()			()	
0		()			()	

手数料※
(税込み)

¥

()

試験完了日

受付印

領収月日※

領収番号※

調定決議

主任 係長 管理部長 センター長

納入金額

納入義務者

収納済年月日

納入通知書発行日

納入通知書 調定番号

確認番号

決裁日	令和	年	記入例		ver.1(R6.4.1)
【実施例】本件、受諾してよろしいか。			紙のとおり結果を通知してよろしいか。		
副センター長	部長	グループ長	グループ長	グループ長	担当者

センター職員記入欄

【記入例1】
代表取締役社長 茨城 太郎（自署または記名代表者印）

【記入例2（代表者自署または代表者印押印が困難な場合）】
代表取締役社長 茨城 太郎
代理人 茨城事業所長 茨城 花子（自署または記名押印）

【記入例3（所属長自署または所属長印押印が困難な場合）】
代表取締役社長 茨城 太郎
代理人 ○○○事業所 茨城 次郎（自署または記名押印）

※自署：本人が自筆で氏名を手書きすること
記名：自署以外の方法で氏名を記載すること（代筆、ゴム印、ワープロなど）

申請書

令和 6 年 4 月 1 日

(〒) 311-3195

所 茨城県東茨城郡茨城町長岡3781-1

番 029-293-7212

所 茨城県産業技術イノベーションセンター

代表取締役 茨城 太郎

代理人 ○○○事業所 茨城 次郎

します。

1. 試験(分析, 検査)の内容

微小ビッカース硬さ試験機によるもの、疲労試験機によるもの(恒温槽なし)

2. 試験(分析, 検査)の目的又は事由

試作

3. 試料名及び数量

○○ ○個、○個所、○式、○通りなど

4. 産地(製造地)名及び製造者名

茨城県○○市、○○製作所

5. 試料の返還の要否

不要

担当者連絡先	(1) 所属部署	○○部○○課
	(2) 役職・氏名	主任 ○○ ○○
	(3) TEL	029-293-7213
	(4) E-MAIL	× × × × @abc.jp

減免率0%

以下センター職員記入欄

コードNo※	区分 ※	試験単価※	単位※	件数※	金額※	確認者※
120						
120						
000						
000						
000						

センター職員記入欄

手数料※ (税込み)	¥ ()
試験完了日	



調定決議			
主任	係長	管理部長	センター長
納入金額			
納入義務者			
収納済年月日			
納入通知書発行日			
納入通知書 調定番号		確認番号	

領収月日※	領収番号※

決裁日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

【実施例】本件、受諾してよろしいか。

副センター長	部長	グループ長	グループ員	担当者

成績書交付申請書

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

(印)

住 所

電話番号

事業所名

氏 名

私が、令和 年 月 日 付けで依頼した試験等に係る成績書を交付願いたく申請します。

1 試験等の内容

(1) 試験等の種類及び内容

(2) 試験の目的又は事由

(3) 材料又は試料の名称及び数量

(4) 産地(製造地)名及び製造者名

(5) 試験等の方法

(6) その他必要事項

2 成績書の交付を必要とする理由

担当者連絡先

(1)	所属部署	
(2)	役職・氏名	
(3)	TEL	
(4)	E-MAIL	

○交付を希望される枚数をご記入下さい

通

以下センター職員記入欄

内容	単位	単価	枚数	金額	担当
成績書交付	1通	560 ()		()	

手数料※ (税込み)	¥ ()
---------------	----------



領収月日※	領収番号※

調定決議			
主任	係長	管理部長	センター長
納入金額			
納入義務者			
収納済年月日			
納入通知書発行日			
納入通知書 調定番号		確認番号	

【記入例1】

代表取締役社長 茨城 太郎（自署または記名代表者印）

【記入例2（代表者自署または代表者印押印が困難な場合）】

代表取締役社長 茨城 太郎

代理人 茨城事業所長 茨城 花子（自署または記名押印）

【記入例3（所属長自署または所属長印押印が困難な場合）】

代表取締役社長 茨城 太郎

代理人 ○○○事業所 茨城 次郎（自署または記名押印）

※自署：本人が自筆で氏名を手書きすること

記名：自署以外の方法で氏名を記載すること（代筆、ゴム印、ワンプ

請書

令和 6 年 4 月 1 日

（〒）311-3195

所 茨城県東茨城郡茨城町長岡3781-1

電話番号 029-293-7212

名 茨城県産業技術イノベーションセンター

代表取締役 茨城 太郎

代理人 ○○○事業所 茨城 次郎

試験等に係る成績書を交付願いたく申請します。

1 試験等の内容

(1) 試験等の種類及び内容

微小ビッカース硬さ試験機によるもの、疲労試験機によるもの（恒温槽なし）

(2) 試験の目的又は事由

試作

(3) 材料又は試料の名称及び数量 ○○ ○個、○個所、○式、○通りなど

(4) 産地（製造地）名及び製造者名 茨城県○○市、○○製作所

(5) 試験等の方法

疲労試験機によるもの

(6) その他必要事項

特になし

2 成績書の交付を必要とする理由 社内評価で必要なため

担当者連絡先

(1) 所属部署	○○部○○課
(2) 役職・氏名	主任 ○○ ○○
(3) TEL	029-293-7213
(4) E-MAIL	××××@abc.jp

○交付を希望される枚数をご記入下さい

1

通

センター職員記入欄

○茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例

昭和51年3月29日

茨城県条例第14号

(使用料及び手数料の徴収)

第1条 茨城県産業技術イノベーションセンター(以下「センター」という。)の設備を使用し、又はセンターに対して試験、分析、検査、調製、加工等を依頼しようとする者から、この条例の定めるところにより使用料又は手数料を徴収する。

(使用料及び手数料の額)

第2条 使用料及び手数料の額は、別表第1及び別表第2に定めるとおりとする。ただし、上限又は下限の定めのあるものについては、その範囲内で知事が定める額とする。

(使用料及び手数料の免除)

第3条 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料又は手数料の全部又は一部を免除することができる。

(使用料及び手数料の返還)

第4条 既に徴収した使用料及び手数料は、返還しない。ただし、知事が特に必要と認めたときは、この限りでない。

(委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、知事が定める。

○茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例施行規則

昭和51年3月31日

茨城県規則第27号

(趣旨)

第1条 この規則は、茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例(昭和51年茨城県条例第14号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み等)

第2条 茨城県産業技術イノベーションセンター(以下「センター」という。)の設備を使用し、又はセンターに対して試験、分析、検査、試作、調製、加工等(以下「試験等」という。)を依頼しようとする者は、あらかじめ設備使用申請書(様式第1号)又は試験・分析・検査申請書(様式第2号)若しくは試作・調製・加工申請書(様式第3号)を茨城県産業技術イノベーションセンター長(以下「センター長」という。)に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項の規定による承認を受けた者は、当該承認を受けた事項を変更しようとするときは、速やかに設備使用変更申請書(様式第4号)、試験・分析・検査変更申請書(様式第5号)又は試作・調製・加工変更申請書(様式第6号)をセンター長に提出し、その承認を受けなければならない。

(使用料及び手数料の納入)

第3条 前条の承認を受けた者は、条例第2条に規定する使用料又は手数料をセンター長の指定する期日までに納入しなければならない。

(材料等の提出)

第4条 第2条第1項の規定による試験等の依頼の承認又は同条第2項の規定による当該承認を受けた事項の変更の承認を受けた者(以下「依頼者」という。)は、遅滞なく試料又は材料をセンター長に提出しなければならない。

2 センター長は、必要があると認めるときは、前項の試料又は材料の数量を指定することができる。

(順守義務)

第5条 第2条第1項の規定による設備の使用の承認を受けた者(以下「設備使用者」という。)は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 設備を使用するときは、センターの職員(以下「職員」という。)の指示に従うこと。
- (2) 設備の構造の改造及び変更をしないこと。
- (3) 器具類をセンターの外に持ち出さないこと。
- (4) 設備の使用を終了したときは、清潔に掃除すること。
- (5) その他センター長の指示する事項に従うこと。

(取消し及び停止)

第6条 センター長は、設備使用者がこの規則又は承認の条件に違反して設備を使用したときその他設備使用者に設備を使用させることが不相当であると認めたときは、その使用の承認を取り消し、又は一時停止させることができる。

2 センター長は、業務の都合により必要があるときは、設備の使用の承認を取り消し、又は一時停止させることができる。

(原状回復等)

第7条 設備使用者は、建物、設備又は機械器具を汚損し、若しくはき損し、又は滅失したときは、センター長の指示に従い、これを原状に復さなければならない。この場合において、原状に復することができないときは、その損害を賠償しなければならない。

第8条 第2条第1項又は第2項の規定により依頼を受けて行った試験等により試料又は材料の全部又は一部を滅失しても賠償の責めを負わないものとする。

(使用料及び手数料の減免)

第9条 条例第3条の規定により使用料又は手数料の全部又は一部を免除することのできる場合は、次に掲

げる場合とする。

(1) 他の地方公共団体その他公共団体において公用又は公共用のため設備を使用し、又は試験等を依頼するとき。

(2) 公共的団体又は公益団体がその事務又は事業のために設備を使用し、又は試験等を依頼するとき。

(3) その他センター長が必要と認めるとき。

2 使用料又は手数料の免除を受けようとする者は、第2条第1項又は第2項の規定による書類を提出する際に、併せて使用料減免申請書(様式第7号)又は手数料減免申請書(様式第8号)をセンター長に提出しなければならない。

(使用料及び手数料の返還)

第10条 条例第4条ただし書の規定により使用料又は手数料の全部又は一部を返還することのできる場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 第6条第2項の規定により設備の使用を取り消したとき。

(2) 設備使用者の責めによらない事由により設備を使用することができなかつたとき。

(3) 設備の使用開始前に使用の取消しを申し出たとき。

(4) 依頼者の責めによらない事由により試験等を行うことができなかつたとき。

(成績書の交付)

第11条 依頼者は、その依頼した試験等の成績を必要とするときは、成績書交付申請書(様式第9号)をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の申請書の提出は、原則として第2条第1項又は第2項の規定による書類を提出する際に、併せて行うものとする。

3 センター長は、第1項の規定による申請書の提出があつたときは、当該試験等の終了後依頼者に成績書(様式第10号)を交付するものとする。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか、センターの設備の使用、センターに対する試験等の依頼その他必要な事項については、センター長が定める。

新たに機器を導入しました AAS-ICP分析システム

ICP発光分光分析装置・原子吸光光度計

特徴

- ・溶液中の金属濃度を測定できます。
- ・固体試料は前処理*により溶液化して測定します。 *前処理は別途費用がかかります
- ・定性分析および定量分析が可能です。

2024年4月から機器開放

ICP発光分析装置

- ・メーカー・型式：アナリティクイエナ PlasmaQuant 9100 Elite
- ・測定波長範囲：160nm～900nm
- ・波長分解能：0.002nm (波長200nm)
- ・測定対象元素：約70元素(Li～U)



フレイムレス原子吸光光度計

- ・メーカー・型式：アナリティクイエナ contrAA 800 G
- ・光源：キセノンランプ連続光
- ・測定対象元素：3000℃以下で原子化する約40元素
(Li、Mg、Ca、Cr、Fe、Cu、Ag、Cd、Pbなど)



用途

ICP発光分析装置

- ・低濃度から高濃度までの定量分析(ppb～ppmオーダー)
- ・工業製品の品質管理(金属製品、めっき液などの不純物含有量)
- ・製品・材料の組成分析
- ・製品・材料から溶出する不純物分析
- ・溶液中の金属の定性・定量分析(洗浄水、冷却水など)

フレイムレス原子吸光光度計

- ・溶液中の極微量濃度の定量分析(ppb以下)
- ・有害金属の不含有判別

両装置とも設備使用での利用が可能です

サンプル形状や測定したい元素、目的の濃度などで、測定装置が異なります。
ご不明点・ご利用希望ございましたら、お気軽にお問い合わせください

問い合わせ先

茨城県産業技術イノベーションセンター フード・ケミカルG

TEL:029-293-8576(直) Mail:food_chemical2@itic.pref.ibaraki.jp

〒311-3195 茨城県東茨城郡茨城町長岡3781-1



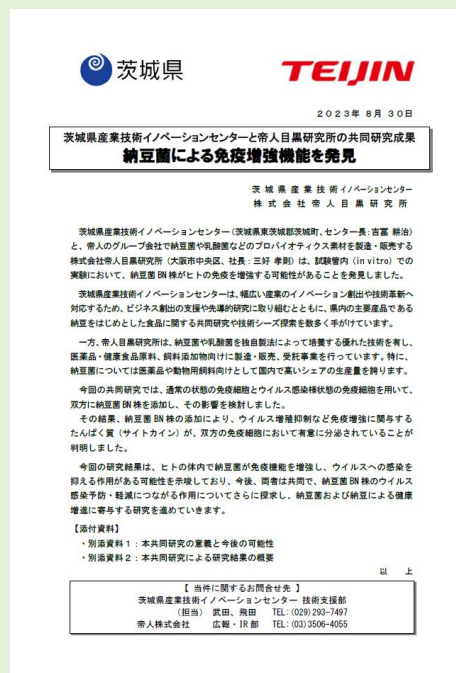
センターHP

御社の製品や技術を共に発信しませんか？

～センターでは、技術開発からPRまで一貫したサポートを提供します！～

①連名でのプレスリリース

プレスリリース例



共同研究成果やセンターシーズを用いた新商品発売等のプレスリリースを連名で行えます。

- ・資料作成は職員がお手伝いします。
- ・発表資料は、県政記者クラブへリリースし、県ホームページにも掲載されます。
- ・有料プレスリリース媒体への掲載も検討できます。

(参考) 県政記者クラブ
新聞社、テレビ局、ラジオ局など
16社が加盟

②センター刊行物による取組内容のご紹介

刊行物例 (成果集)



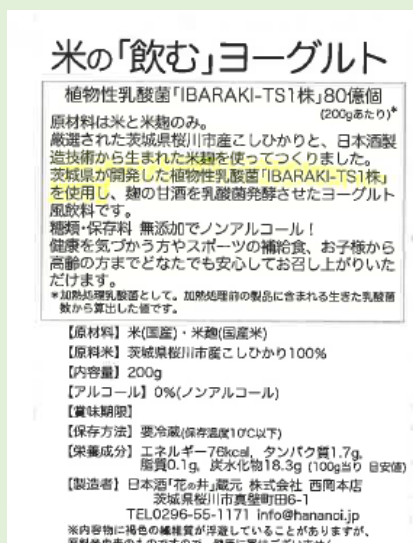
センターでは刊行物により支援企業における製品化・実用化事例を紹介しています。

- ・刊行物は、関係機関へ配布し、センターホームページにも掲載しています。

(参考) 令和5年成果集
発行部数 1,500部
配布先 関係省庁、マスコミ、大学、県内外企業 等

③PR資料やパンフレット、ホームページなどでのセンター名義使用

名義使用例



パッケージ記載例
(米の「飲む」ヨーグルト (西岡本店))



POP記載例
(真上 (村井醸造))

依頼試験や共同研究の結果により、PR資料やパッケージ、ホームページにセンター名義を使用できます。

※設備使用は対象外

- ・申請手続きが必要なため、必ず事前にお問い合わせください。



茨城県産業技術イノベーションセンター

Industrial Technology Innovation Center Of Ibaraki Prefecture

◆茨城県産業技術イノベーションセンター、各支所へのアクセス



- 茨城県産業技術イノベーションセンター（本所）
〒311-3195 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3781-1
TEL : 029(293)7212（代）
FAX : 029(293)8029



＜茨城県産業技術イノベーションセンター（本所）＞



- 繊維高分子研究所
〒307-0015 茨城県結城市鹿窪 189
TEL : 0296(33)4154
FAX : 0296(33)2953



＜繊維高分子研究所＞



- 笠間陶芸大学校
〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2346-3
TEL : 0296(72)0316（代）
FAX : 0296(72)3027



＜笠間陶芸大学校＞

【対応分野別お問合せ先一覧】

グループ名	対応分野	主な機器	問合せ先
新ビジネス支援グループ	コワーキング、デザイン、ビジネスプラン	大判プリンタ、3Dプリンタ、3Dモデリングマシン	029-293-7495 本所 (茨城町長岡3781-1)
IT・マテリアルグループ	精密測定、CAE、機械	三次元測定機、3Dプリンタ、CAD、CAE、CAM	029-293-7482 029-293-8575 本所 (茨城町長岡3781-1)
	EMC、センサネットワーク、マイコン制御	EMI機器、RFイミュニティ機器、耐ノイズ試験機、冷熱衝撃試験機	
	金属材料試験、金属組織観察	引張試験機、疲労試験機、プレス機(110t)、金属顕微鏡	
	木工	木材加工機器	
フード・ケミカルグループ	分析評価、腐食特性評価、表面処理、RoHS	微小蛍光エックス線分析、ICP発光分析、FT-IR、複合サイクル試験機	029-293-7497 029-293-8576 本所 (茨城町長岡3781-1)
	納豆菌、乳酸菌等有用微生物	GC/MS、オートクレーブ、生物顕微鏡	
	酒、納豆、漬物、菓子等食品加工	高温高圧調理滅菌機、真空凍結乾燥機	
高分子材料グループ	プラスチック等高分子製品試験	射出成型機、引張試験機、耐候試験機、プレス成型機、電子顕微鏡、整経機	0296-33-4154 繊維高分子研究所 (結城市鹿窪189)
繊維・紬グループ	繊維素材、結城紬		
窯業技術グループ	セラミックス、石材、窯業原料	電気炉、真空土練器、自動乳鉢、X線回析装置、熱分析装置、蛍光X線分析装置	0296-72-0316 笠間陶芸大学校 (笠間市笠間2346-3)
陶芸人材グループ	陶磁器素地、成形、焼成技術等		

◎機器や試験の詳細は
センターホームページを参照してください。
<https://www.itic.pref.ibaraki.jp/>



【総合窓口】 産業技術イノベーションセンター
産業連携グループ

電 話：029-293-7213

メール：renkei2@itic.pref.ibaraki.jp